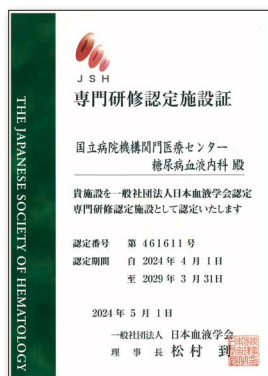




260号 発行所 / 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者 / 病院長 吉野 茂文 印刷 / ㈱アートネクスト



Staff profiles for Kanmon Medical Center: 周山 拓也 (Diabetes/Hematology), 松井 久未子 (Diabetes/Hematology), 鶴 政俊 (Deputy Chief, Diabetes/Hematology).

関門医療センターの糖尿病・血液内科です

Main text describing the center's services for diabetes and hematology, including information on blood donation, insulin therapy, and patient support.

Case study: 当センターでの悪性リンパ腫治療例 (Malignant Lymphoma Treatment Example at Our Center). Includes PET scan images and R-CHOP therapy results.

外来診療担当医一覧表 (Outpatient Treatment Staff List)

2024年8月1日

Table with columns for Group Name, Department Name, Day, and Staff Name. Lists various medical departments and their respective staff members.

Contact information: 〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター. Includes phone numbers, fax numbers, and website URL.



同僚の研修医たちと

から患者さんとそのご家族に向けて病状説明をしたことです。はじめましての挨拶をして数時間後には現在の病状や行っている治療、今後の見通しなどをお話ししなければならず、患者さんからの質問に答えながら分りやすく丁寧に説明するということの難しさを痛感するとともに、来月から実際の主治医となる身としましては身の引き締まる思いがしました。

また自分が内科外来で診察した患者さんのうち、入院



研修修了式にて

研修修了式にて、患者さんを通じてたくさんのお話を学び、お互いに助け合い、仲間・スタッフにも恵まれ、この上ない地域医療研修を行うことができました。

患者さんを通じてたくさんのお話を学び、お互いに助け合い、仲間・スタッフにも恵まれ、この上ない地域医療研修を行うことができました。

7月1日から1ヶ月間、鹿児島県の奄美群島南西部に位置する沖永良部島にある沖永良部徳洲会病院にて地域医療研修をして参りました。

沖永良部徳洲会病院は、今年7月10日に逝去された同会創設者で元衆議院議員の徳田虎雄先生により開設され、132床（一般病棟60床、医療療養40床、地域包括ケア32床）の病床数があります。離島であるため当センターのような病院と比べると常勤医の数もかなり限られており、我々研修医も主戦力として内科外来から日中夜間の救急対応、手術処置検査や病棟管理、訪問診療まで医師として関わるすべての業務に携わる機会をいただきました。

その中でも特に印象に残っているのは、赴任初日から患者さんとそのご家族に向けて病状説明をしたことです。はじめましての挨拶をして数時間後には現在の病状や行っている治療、今後の見通しなどをお話ししなければならず、患者さんからの質問に答えながら分りやすく丁寧に説明するということの難しさを痛感するとともに、来月から実際の主治医となる身としましては身の引き締まる思いがしました。

「沖永良部での1か月を終えて」



研修医 重本 航輝

治療が必要と判断した場合にはその必要性を説明したうえで、持参薬継続の判断や薬剤食事リハビリのオーダー、必要時指示などすべて自分で判断して指示を入れるという、これまでの臨床研修ではあまり持てなかつた機会に恵まれたとともに、自らの勉強不足を恥じ、悔やむことも多々ありました。

もちろん困った場合には同僚の研修医や上級医の先生方に相談することもありましたが、それでもほとんど実質的な主治医として日々の業務をこなすことは初めてであったため、いち地域研修としては大変貴重な経験を積むことができたと思います。

日中は業務に忙殺され気が付けばもう定時かというくらい時間が過ぎるのが早かったのですが、退勤後は他職種を含めた同僚と海に潜ってウミガメといっしょに泳いだり、夜は満天の星空を眺めに行ったりとプライベートの方もとても充実しており、心身ともにとても満ち足りていた1ヶ月でした。



透析液供給・溶解装置

普通患者さんが見ることの無い装置ではありますが、より一層患者さんに寄り添った、安全な透析治療に貢献していきたいと思っております。

今回更新された装置は、透析患者さんが血液透析を受けられるために必要な液（以降透析液）の供給と作製を行っている装置です。新しくなったことで変わった点は2つあります。

1つ目は、透析液の供給と作製する装置の安全性と信頼性の向上です。二系統のポンプにより、片方が故障しても透析液が供給出来るようになり、透析治療を中断する可能性が低下しました。また、作製する装置の変更により、透析液剤が1種類から3種類使用可能になり、災害などで供給停止になった場合でも、他の透析液剤を使用して血液透析を行うことが出来るようになりました。

2つ目は、透析液供給路の清浄化です。透析液は患者さんの血液と接触するため、清浄化がとても大事になります。今までも透析液の清浄化は行っていましたが、今回、透析液供給装置の配管ホースと継手を見直し、劣化しにくく細菌などが付着しづらい素材のものが変更された事で、より衛生的に透析液の清浄化を保つ事が出来るようになりました。



主任臨床工学士 石田 朋行

透析センターの透析装置が新しくなりました

今回更新された装置は、透析患者さんが血液透析を受けられるために必要な液（以降透析液）の供給と作製を行っている装置です。新しくなったことで変わった点は2つあります。

歯科口腔外科における標準予防策等について



歯科口腔外科 院長 板敷 康隆

【はじめに】 標準予防策（スタンダード・プリコーション）とは、CDC（米国疾病センター）が提唱した医療機関向けへの感染予防のガイドラインです。具体的には、汗を除く全ての患者さんの血液・体液（唾液・胸水・腹水・心嚢液・脳脊髄液等すべての体液）・分泌物（鼻汁・涙液等）・排泄物・傷のある皮膚や粘膜には伝播する感染性微生物が含まれている可能性があるため、患者さんと医療従事者双方の感染を少なくする方法です。



写真2

【滅菌器具・ディスプレイの器具や物品を使用】

【減菌器具・ディスプレイの器具や物品を使用】 当科では標準予防策を実践するため、個々の患者さんの診療に際し、滅菌器具・ディスプレイの器具や物品を使用しています（写真1）。



写真5

写真4

写真3

【診療室内の空気清浄】

診療中はHEPAフィルター+紫外線殺菌装置搭載の空気清浄器を2台使用しています（写真3）。さらに、歯科X線照射室および歯科技工室にはストリーマ搭載の空気清浄器を使用しています（写真4）。夜間はオゾン発生装置を使用し室内全体の消毒を行っています（写真5）。

【最後に】 当科では上記標準予防策と併せて滅菌器具・ディスプレイの器具や物品を使用するとともに、エアゾルの軽減、診療室内の空気清浄を行うことにより、少しでも患者さんに安心して診療を受けて頂けるよう、心掛けて参ります。



Q 出身地は？
山口県周南市で、徳山高校出身です。

Q 今、行きたいところはどこ？
ハワイ（オアフ島）です。新婚旅行で行きましたが、毎日陽の光を浴びて風を感じて波の音を聞くだけで幸せになれる、夢の楽園でした。ビーチを望みながらのビールは最高です。

Q おすすめの場所は？
最近のブームは小倉南区の「仁兵衛」という、うどん屋です。麺の食感（つるつるもちもち）、のど越し、だし、すべてが最高です。どんな疲れも吹き飛びます。おすすめメニューはえび天うどんか、天釜うどんです。

Q 私の健康法を紹介します
毎朝、起床後の腕立て伏せ100回が筋肉にも眠気覚ましにも効果的です。その後、自家製バナナジュース（バナナ＋ヨーグルト＋牛乳、Braun社ハンドブレンダー愛用）を飲むと1日の始まりを感じます。

Q 今、夢中なものは？
息子（2歳半）がお風呂大好きなので、一緒にお風呂に入って遊ぶのが楽しみです。

Q 大切にしているものは何ですか？
人との出会い、チームワークです。1人の力はちっぽけで自分一人では何も出来ません。多職種の方の力が合わさってこそ、最良の医療を患者さんに提供できると思っています。スタッフの方々に日々感謝です。まだまだ未熟ですが、今後とも御指導よろしくお願ひします。



家族で温泉旅行
鈴木 有十夢
診療科：外科